



2022年4月12日

各位

会社名 株式会社 文教堂グループホールディングス
 代表者名 代表取締役社長 佐藤 協治
 (東証スタンダード市場 コード番号: 9978)

問い合わせ先 取締役 小林 友幸
 財務経理部長

TEL 044-811-0118

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2022年1月13日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正

(1) 第2四半期(累計)(2021年9月1日~2022年2月28日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり四半期純利益
					円 銭
前回予想(A)	8,660	150	150	140	3.29
今回修正(B)	8,411	5	28	18	0.42
増減額(B-A)	△249	△145	△122	△122	—
増減率(%)	△2.9	△90.6	△81.3	△87.1	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2021年8月期第2四半期)	9,843	218	226	227	8.62

(2) 修正理由

売上高につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染状況に落ち着きがみられ、行動制限も徐々に緩和されたことから消費行動が外出再開へ向かい、巣ごもり需要が沈静化し、出版流通業界におきましては前年比売上が大きくマイナスとなりました。また、札幌市を中心に記録的な大雪の影響もあり、予想を下回りました。

営業利益につきましては、事業構造の改革による店舗の効率運営、人材再配置等の実現により販売費及び一般管理費はおおむね計画通りとなりましたが、売上高の減少により売上総利益が減少し、予想を下回りました。

また、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う店舗の休業及び営業時間短縮により自治体からの協力金収入を営業外収益として計上いたしました。上記の要因があったことから予想を下回りました。

(3) 通期 (2021年9月1日～2022年8月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり当期純利益
前回予想 (A)	17,520	300	300	290	6.77
今回修正 (B)	16,950	50	70	60	1.37
増減額 (B - A)	△570	△250	△230	△230	—
増減率 (%)	△3.3	△83.3	△76.7	△79.3	—
(ご参考) 前期実績 (2021年8月期)	18,782	365	382	365	11.19

(4) 修正理由

通期の売上高につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響は不透明ではありますが、出版流通業界におきましては、依然として市場の縮小が続いていることに加え、巣ごもり需要が沈静化したことによる反動減もあり、書籍・雑誌等の売上の減少傾向は当面の間続くもの想定しております。

このような状況の中、当社グループの書店事業につきましても、出版流通業界における売上減少傾向の影響は避けられず、書籍・雑誌等の売上は低調に推移するものと見込んでおりますが、比較的好調を維持している児童書及び学習参考書の品揃えの強化、棚卸資産の評価の見直しによる商品評価損を計上していた商品の一部を安価での売却を進め、売上及び利益を確保してまいります。

また、教育プラットフォーム事業の一環として2022年1月に開校した「プログラミング教室 HALLO 文教堂溝ノ口校」では順調に生徒数を獲得しており、2022年5月には2校目となる「プログラミング教室 HALLO 文教堂 R412校」、2022年8月にも3校目の開校を予定しております。

一方で、2022年2月28日に株主名簿が確定し、2021年8月31日現在の株主数と比較して約1万人の株主様が増加(約150%の増加)したことにより、株式事務代行手数料が増加する見込みであります。

上記の要因に加え、当第2四半期の修正により通期も修正となる見込みであります。

(注) 上記の業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって上記予想値と異なる可能性があります。

以 上